

熊野古道 紀伊路 ③

山行日 2020年6月23日

メンバー ここゆめ班 do-yan

コースタイム 久米田駅 7:15→10:42 佐野王子→11:44 靱井王子→13:13 和泉砂川駅

梅雨の合間の晴れ間に熊野古道歩き 紀伊路第3弾 前回の続き久米田駅から出発



熊野街道もこの辺りは小栗街道とも呼ばれていました



街道沿いには旧家が残っています 南に進むと貝塚市に入った 浅字川王子（麻生川王子）の碑はありませんが堂ノ池沿いには半田一里塚の石碑が残っています



水間鉄道を越えると石垣の塀が続く長谷川ノ坂そこから JR 阪和線を越えると鞍持王子、近木王子と続くが跡碑はない 南近義神社に合祀されているようで お参りをしました



だが 址碑はありませんでした

貝田橋を渡ると鶴原王子ですがここにも碑はないです
に出てしまった 街道に戻るのに 30分もかかった

ここで道を間違っバイパス道



佐野川を渡ると赤白に色分けされた大きな鉄塔が見えた この鉄塔の先に佐野王子の碑を見つけた 今日初めての王子跡



少し進むと ぶどうみちの石碑 すぐ和歌山道と書いてあります



関西空港自動車道のガード下をくぐると古い家並みが続く道に土壁の塀が珍しい 田んぼにはひまわりの花が咲いていますが暑さで下を向いています 半袖、短パンで歩いていたので日焼けがひどくなってきた



塙団右衛門の五輪塔を過ぎると自動車修理工場の家の敷地内に靱井王子址があるはずなんですが勝手に入るわけにもいかず家の方に

了解をもらって写真を撮らせてもらいました





この先も旧家が立ち並んでいます 昔ながらの街道風景を見ることができます
明治大橋のたもとには 古戦場大坂夏の陣跡の碑



海会寺跡を過ぎると厩戸王子後の碑があるはずですが 団地の中を探し回ること 15分 共同墓地の奥に厩戸王子址の碑を見つけた
休憩なし5時間舗装道路を歩くと 足が限界に近づいてきた



旧家の前には紀州街道信達宿の灯や本陣跡の角谷家



今は電気の自動点灯式になっている信達宿の常夜灯など今でも常夜灯の役目を果たしているものもあります



歴史街道熊野街道の道標を横目に今は咲いていない野田家の藤棚 春先はたくさんのお客様が来るらしいです
和泉砂川駅近くで足が動かなくなり今回は途中でありますがここまで 次回は和泉砂川駅から山中溪を越えて和歌山に入ります